

確かな今を、豊かな明日へ。



三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社
(Mitsubishi Corp. -UBS Realty Inc.)

Communication on Progress
2019年10月～2020年9月

2020年9月30日(水)

1. トップステートメント

私は、ここに三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社が、国連グローバル・コンパクトの人権、労働、環境、および腐敗防止に関する10原則を支持することを再度表明します。

当社は、「人に地域に世界に新たな価値を創造し続ける」というミッションを掲げ、人・地域・世界から信頼され、不動産金融ビジネスをリードするプロフェッショナル集団の実現を目指しております。この企業理念の下、J-REITの資産運用会社として早くからESGに対する取り組みを進めて参りました。

その中で、環境のみならず、私たちの重要なステークホルダーである社会への貢献を深化させるとともに、コーポレートガバナンスの更なる強化に努めていくことを目指し、2016年10月にグローバル・コンパクトに署名しました。

2020年1月には、2013年に設置したサステナビリティ・コミッティを「サステナビリティ委員会」とし、代表取締役副社長が最高サステナビリティ責任者（CSO）に就任し、サステナビリティ推進体制の強化を図りました。

また、新型コロナウイルスの感染防止のため、運用不動産におけるテナント様やご利用者様の安全確保に努めるとともに、社員には在宅勤務の促進を行うなど、健康と安全を第一に考えて様々な施策を実行しております。

当社はグローバル・コンパクトの「人権」・「労働」・「環境」・「腐敗防止」の4分野における10原則を支持、促進していくことをホームページを始めとする各種コミュニケーションツールを通じて、ステークホルダーの皆さまに向けて表明して参りました。

今後も、グローバル・コンパクトの理念を実践すべく、より一層の努力を継続してまいります。

2020年9月30日

代表取締役社長 岡本 勝治

2. 取り組み状況 ①人権

活動	詳細	評価
国連難民支援キャンペーンに協力	<p>国連の難民支援機関であるUNHCR（国際連合難民高等弁務官事務所）の日本における公式支援窓口である国連UNHCR協会をサポートするため、当社が運用するファンド（日本リテールファンド投資法人・MCUBS MidCity投資法人）の保有物件の空スペース等を同協会に無償提供。弊社は2013年より7年連続で国連UNHCR協会より感謝状を授与されている。</p> <p>(https://www.mc-ubs.com/sustainability/society/index.html)</p>	○
テナント（投資先物件）における危機管理の取り組み	<p>産業ファンド投資法人では、保有物件のテナントに対し、震災対応等危機管理に係る取り組みを促進。防災訓練の実施状況の把握やテナントにおける労働安全衛生の改善に努めている。また、防災対策として、保有物件におけるポータブル型蓄電池の設置や仮設トイレ等の災害時ライフライン設備の提供を行っている。</p> <p>(https://www.iif-reit.com/sustainability/society/index.html)</p>	○
テナント従業員の休憩室等の改善	<p>日本リテールファンド投資法人保有の商業施設では、テナント従業員が快適に過ごせるよう、従業員休憩室を明るく清潔なものに改修した。テナント従業員の多くが女性であることから、気持ちよく働いていただけるよう、従業員専用のパウダールームを設置するなど、テナントの職場改善にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>mozoワンダーシティの取り組み事例 (https://www.jrf-reit.com/sustainability/society/index.html)</p>	○
従業員の健康と快適性を目指した取り組み	<p>当社従業員が快適・快活に仕事に取り組めるよう、執務環境を整備している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然光を積極的に取りいれている ・植栽の配置 ・カフェテリアコーナーの設置 ・休息できる家具を備えた休憩スペースの設置 等 <p>(https://www.mc-ubs.com/sustainability/society/index.html)</p>	○
新型コロナウイルス感染防止のための取り組み	<p>日本リテールファンド投資法人保有の商業施設では、テナント従業員及び来館者の安全を確保するため、下記のような対策を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員出入口(一部お客様出入口)の検温実施 ・エレベーター内のソーシャルディスタンス啓蒙 ・フードコート席の間引き 等 	○

2. 取り組み状況 ②労働

活動	詳細	評価
衛生委員会を毎月開催	<p>当社では、衛生委員会を設置し、毎月開催している。</p> <p>衛生委員会では、衛生委員を務める従業員と産業医により、残業や休暇取得状況、体調不良者の有無をチェックするほか、食中毒やインフルエンザなど該当時期のトピックなどについて意見交換を行っている。また、衛生委員会の議事録は社内のイントラネットに掲載し、全従業員に周知している。</p> <p>https://www.mc-ubs.com/sustainability/society/index.html</p>	○
過重労働防止のためのモニタリング体制を強化	<p>残業削減を全社目標としている。</p> <p>会社独自のモニタリング体制を整備。労働時間管理をシステム化し、フィードバックレポートを毎月管理者に開示することによって、過重労働の防止に努めている。</p>	○
連続休暇取得の推進	<p>全従業員に対し、連続休暇（5営業日以上）の取得を義務付けているとともに、有給消化率70%を目指し、休暇の取得を推奨している。</p>	○
ストレスチェックの実施	<p>従業員が自分自身のストレス状況を把握し、対処を行うことにより、「うつ」などのメンタルヘルス不調を未然に防止するため、労働安全衛生法に基づいたストレスチェックを実施。</p>	○
上席者向けハラスメント研修	<p>各部署の上席者向けのハラスメント研修を実施。</p> <p>具体的な事例を用いて、様々なハラスメントケースとそれらが及ぼす影響を理解し、いかにしてハラスメントを防止するかを各人に考えさせることを目的に、外部専門家を招いた研修を実施した。</p>	○
専門教育の支援	<p>不動産金融ビジネスにおける人材育成のため、当社では社員の「不動産証券化協会認定マスター（ARES Certified Master）」（不動産と金融分野の実践的な専門知識を体系的に学ぶことができる教育プログラム）等の専門資格取得を推奨している。その他資格取得に向けた研修、受験および資格維持に関する費用は、会社が一部もしくは全部負担している。</p> <p>管理職に対しては、三菱商事株式会社が提供する「Program for Leadership Development」（海外ビジネススクールとの提携により、マネージャーとしての経営スキル習得を図る、延べ5日間研修）をはじめとした各種リーダーシッププログラムへの派遣を実施。その他、管理職以外の従業員も参加できる同社研修プログラムを提供し、希望者は費用負担なく受講することができる。</p>	○
新型コロナウイルス感染防止とストレスケアへの取り組み	<p>当社従業員の安全を確保するため、在宅勤務を推奨するとともに、パソコン、モニター、ヘッドセット等必要な機器の提供を行った。</p> <p>また、コロナ禍のストレスケアを目的にオンライン研修を行っている。</p>	○

2. 取り組み状況 ③環境

活動	詳細	評価
「サステナビリティ委員会」を組織化	2013年に設置したサステナビリティ・コミッティを、2020年1月に「サステナビリティ委員会」として新たに組織化し、代表取締役副社長が最高サステナビリティ責任者（CSO）に就任した。原則四半期に一度開催し、社長、COO、各本部長が、サステナビリティ方針や目標、戦略及び体制について話し合うほか、環境団体などへの加盟及び署名等の承認、ESGレポートやグリーン適格資産の承認を行っている。 (https://www.mc-ubs.com/sustainability/management.html)	○
CO2排出量に関する目標と実績を開示	当社は2015年9月「モンリオール・カーボン・プレッジ」に署名した。 https://www.mc-ubs.com/sustainability/case.html 環境負荷低減の一環として、弊社のファンド保有物件におけるCO2排出削減目標と排出量についてWebサイトを通じて毎年開示している。 日本リテールファンド投資法人（中長期目標と環境パフォーマンス） ： https://www.jrf-reit.com/sustainability/environment/index.html 産業ファンド投資法人（中長期目標と環境パフォーマンス） ： https://www.iif-reit.com/sustainability/environment/index.html MCUBS MidCity当法人（環境パフォーマンス） ： https://www.midcity-reit.com/sustainability/environment	○
環境認証の取得	日本リテール投資法人は、本報告期間（2019年10月～2020年9月）にCASBEE不動産評価認証を5物件、DBJ Green Building認証を2物件で新たに取得。 (https://www.jrf-reit.com/sustainability/environment/index.html) 産業ファンド投資法人は、本報告期間（2019年10月～2020年9月）にCASBEE不動産評価認証を8物件で新たに取得。 (https://www.iif-reit.com/sustainability/environment/index.html) MCUBS MidCity投資法人は、本報告期間（2019年10月～2020年9月）にCASBEE不動産評価認証を1物件で、CASBEEスマートウェルネスオフィス評価認証を1物件で新たに取得。 (https://www.midcity-reit.com/sustainability/evaluation)	○
気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）への賛同	金融安定理事会により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」が2017年6月に公表した提言の趣旨に賛同し、2019年8月に署名した。	○

2. 取り組み状況 ④ 腐敗防止

当社は、コンプライアンス基本方針に則りコンプライアンス管理室を設置し、取締役及び使用人が法令・定款及び社会規範を遵守した行動をとるための内部体制の整備及び問題点の把握に努めています。

(<https://www.mc-ubs.com/organization/compliance.html>)

活動	詳細	評価
腐敗防止に対する取り組み	役職員が贈収賄罪に関与してしまうリスクを強く認識し、社内規程により、公務員、公務員とみなされる者、若しくは贈収賄罪が適用になる者に対する接待・贈答は原則禁止としている。また、本件をコンプライアンス研修のテーマとして取り上げ、従業員に対し具体例を通じた学びの機会を設けることで、役職員の知識の充実及び意識の向上に努めている。	○
コンプライアンス浸透度調査の実施	全従業員を対象としたコンプライアンス浸透度調査を実施。調査結果を踏まえて、検討・課題項目を洗い出し、課題を踏まえた施策を実施している。	○
コンプライアンスに関する研修を実施	「反社会的勢力への対応等」と「コンダクトリスク」をテーマにした外部講師による研修をそれぞれ実施。後者は、「企業や役職員による顧客・市場・環境・社会・投資主・従業員に悪影響を与える行為により、企業の価値を毀損するリスク」の理解を深めることを目的としている。また、1年を通じて、全従業員がeラーニングを受講。	○
全従業員がコンプライアンス誓約書に署名	コンプライアンス・マニュアルに定める行動規範の遵守、関係している投資法人証券の売買、不正行為及び法令違反行為をしない旨を記したコンプライアンス誓約書に全従業員が署名している。	○
金融庁が発表した「顧客本位の業務運営に関する原則」について当社の方針を発表	金融庁が2017年3月30日に公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」で提示された7つの原則に沿う運用方針を設定し、実行に努めていることをホームページで表明。 (https://www.mc-ubs.com/fiduciary/)	○

3. 結果の測定

活動	詳細
従業員の多様性	<p>従業員の男女比率：男性61.4%／女性38.6%</p> <p>従業員の年齢層：30歳未満 4.1%／30歳～50歳未満 83.5%／50歳以上 12.4%</p> <p>管理職における女性比率：23.9%</p> <p>※上記はすべて2019年12月31日現在の調査結果</p> <p>三菱商事・ユービーエス・リアルティ（サステナビリティ（社会）） https://www.mc-ubs.com/sustainability/society/index.html</p>
業務起因による欠勤	欠勤比率：0%